

2025年 敬老のお祝いコンサート

当院では毎年多くのご長寿の方へ、『人生の先輩』である皆様の豊かなご経験に敬意を表し、お祝いをお伝えしております。特にその年に節目のお祝い歳である100歳以上と、白寿(99歳)、卒寿(90歳)、米寿(88歳)、傘寿(80歳)、喜寿(77歳)を迎えられる患者様には、病院を挙げてイベントにご案内し、ご長寿をお祝いしております。今年はそのメインイベントとして通常のロビーコンサートを敬老のお祝いの意を込めて実施。感染対策のため2ヶ月間に亘って執り行い、素敵な演奏をお楽しみいただきました。



2025年8月30日(土)

**ご出演:高井洋子様・余田典子様
(クラリネット・ハープ)**

ご対象:3階東病棟・3階西病棟・3階中央病棟



2025年9月27日(土)

**ご出演:木村りえ様・木村りさ様
(ピアノ連弾)**

ご対象:2階東病棟・4階東病棟・4階西病棟

今年、当院の最高齢の方は103歳になられる女性患者様でした。そしてどちらのコンサートにも100歳を超える患者様にもご鑑賞をいただくことができました。中には、まさにコンサート当日がお誕生日であり、100歳になられた方も！演奏の前にはセレモニーとして、院長より皆様へご長寿のお祝いをお伝えしました。





8月30日に開催した敬老のお祝いコンサートでは、高井洋子様、余田典子様によるクラリネットとハープの演奏をお届けいたしました。最初の曲である『クラリネット・ポルカ』では、高井様がクラリネットを演奏しながら患者様のお近くを回って登場くださる素敵なパフォーマンスをご披露され、会場は一気に盛り上がります。『引き潮』での余田様の美しいハープの旋律には、うっとりとしたご表情をされる方も。ヴィクトリアガーデンキッチンより『前奏曲』『夏』を演奏くださると、明るく爽やかな風が吹き込むような音色に、指先や身体を動かしたりリズムを取られる方も多くいらっしゃいました。『魅惑のワルツ～踊りあかそう』や『アマポーラ～コーヒー・ルンバ』では、高井様がクラリネットに加え、カホンや足に取り付けたカスタネット、鈴等のパーカッションを演奏しますと、その迫力に驚かれる男性患者様も。最後の『憧れのハワイ航路』ではアロハシャツを身に纏い再び患者様近くにて演奏くださるサプライズに、患者様方からも楽しそうな歌声が響きました。曲の合間には手遊びや華やかなMCもあり、どなた様もお部屋に戻られた後も普段より豊かなご表情をされており、スタッフ一同大変嬉しい思いにあふれました。

～プログラム～

クラリネット・ポルカ
引き潮

「ヴィクトリアンキッチンガーデン組曲」より 前奏曲、夏
(手遊び)うさぎとかめ

魅惑のワルツ ～ 踊り明かそう

アマポーラ ～ コーヒー・ルンバ

憧れのハワイ航路

(アンコール)川の流れるように

9月27日のコンサートでは、双子のご姉妹である木村りえ様と木村りさ様による演奏をお楽しみいただきました。お二人は幼少期よりピアノに親しみ、筑波大学附属盲学校中・高等部音楽科にてピアノを学ばれ、りえ様はフェリス女学院大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻を、りさ様は国立音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻をご卒業されました。現在は東京を拠点にピアニストとして幅広くご活躍されています。当院には2009年にもご出演をいただいております、この度患者様方のご長寿をお祝いの意を込めて今一度ご出演くださることとなりました。

MCではとても明るく、そしてエネルギーに溢れた自己紹介や曲の説明に、思わず笑顔を浮かべられる方も。『4手のためのピアノソナタ ニ長調 KV 381』では、1台のピアノを演奏されているとは思えないような豊かな響きが会場に広がります。技巧的な旋律の中には、お二人の温かなお人柄を感じる優しい音色が。『だったん人の踊り』では、楽し気だったり緊迫感に溢れたりと様々に曲調が変化し、まさしくオペラを鑑賞したような充足感を感じさせてくださいました。最後にはアンコール曲にて『ラデツキー行進曲』を演奏くださり、患者様方も自然と手拍子をされるなど一体感に包まれました。普段はTVやラジオの音に聞き取りにくさを感じているという患者様も、この日の演奏は「すごく良かった。楽しかった。」と嬉しそうにされ、お心に残るひとときをお過ごしいただけたようでした。



～プログラム～

W. A. モーツァルト 4手のためのピアノソナタ ニ長調 KV 381

1. Allegro

2. Andante

3. Allegro molto

A. ボロディン オペラ イーゴリ公より「だったん人の踊り」

(木村りえ、木村りさ編)

(アンコール) J. シュトラウス1世 ラデツキー行進曲

敬老のお祝いイベント

内科病棟:2025年9月10日(水)、12日(金)、20日(土)、29日(月)

認知症病棟:2025年9月13日(土)~

当院では毎年、節目のお祝い歳を迎えられる患者様方へご長寿のお祝い状をお贈りしております。今年は当院の近所にて開花した“リュウゼツラン”という、数十年から百年に1度花が咲く“長寿”を象徴する縁起の良い花の写真が添えられています。また、99歳以上の方には院長よりお祝いの手書きメッセージが添えられ、ご覧になられた方の中には目に涙を溜め噛みしめるように何度も顔を覗かれています。



2・3階内科病棟では病棟スタッフとレクワーカーより、節目のお祝い歳を迎えられる患者様方へお祝い状の贈呈と記念の写真撮影を行いました。お一方ずつお部屋を回りご長寿のお祝いをお伝えすると「とうとうこんな年になったのね。」と感慨深げにお話くださる方、「心は20代だから！まだまだ！」と快活な笑顔をお見せいただいた方も。ご家族様と一緒に記念写真に応じてくださる方もおられ、どの病棟でも大変温かな雰囲気でお祝いをお伝えすることができました。

4階認知症病棟では、作業療法士が患者様のお部屋にお伺いし、皆様お一方ずつのご体調やご様子に合わせてお祝い状の贈呈とお祝いをお伝えしました。マラカスやタンバリンの賑やかな音色と共に「ご長寿おめでとうございます！」というお声掛けをすると、それまで目を閉じて過ごされていた方もパッと目を開けられ笑顔に。嬉しそうなご表情をお見せくださいました。

